

令和元年度事業報告

令和元年度は以下の行動計画に基づき事業を行った。

設立10周年を迎え、改めて本協議会の設立趣旨を再確認し、福祉人材養成と大学教育を巡るさまざまな課題に加盟大学が連携・協力して取り組み、福祉系大学に寄せられている社会的要請に応えていくよう、次の行動計画に基づき活動を行う。

1. 社会的発信力の向上

- 1) 厳しい学生募集環境や、福祉人材の育成・確保に関する課題、福祉職の地位向上に関する問題等の解決に向けて、会員校が一致して取り組むことができる事業を検討・実施する。【総務・企画委員会】
- 2) 本協議会の趣旨に賛同いただける会員校の拡大に、引き続き取り組む。
【総務・企画委員会】
- 3) ソーシャルワーカーの認知度及び地位向上の取り組みについて、関係団体・省庁等と連携して進める。【総務・企画委員会】
- 4) 創立10周年を記念して、福祉を学ぶことの価値と福祉職のイメージ向上を目指し、一般にも公開して講演会・シンポジウムを開催する。
(6月総会・1月総会と同時開催予定)

2. 各委員会の取り組みについて

引き続き下記の委員会を設置し、各課題解決に向けて取り組みを進める。会員校は、希望に基づき、各委員会に所属するものとする。各事業推進にあたっては、会員校間の連携強化につながり、全体で取り組むことの効果を追求し、進めていく。

◎令和元年度設置委員会

- ①総務・企画委員会
- ②研究活動・教育向上委員会
- ③就職委員会
- ④学生募集戦略検討委員会
- ⑤大規模災害対応委員会

1) 総務・企画委員会

- ・各委員会と連携し、取り組みの発信を強化していく。
- ・引き続き、学生募集戦略検討委員会と共催で、厳しい学生募集状況の改善に繋がる事業を推進する。
- ・研究活動・教育向上委員会と共催で、社会福祉士養成課程カリキュラム見直しの課題に取り組む。社会の変化及び高校生のニーズに応え、また、福祉系学部・学科の魅力向上に繋がるカリキュラム改革の推進について、研究・検討をすすめる。

2) 研究活動・教育向上委員会

- ・社会福祉士養成課程見直しに関する情報の収集、及び会員校への情報の提供を行い、会員校の意見をふまえて、必要に応じて意見提出を行う等関係機関と調整を図る。
(11月22日に勉強会開催予定)
- ・社会福祉国家試験の問題等内容にかかわって、会員校へのアンケートを実施し、問題の精度向上に資するため、必要に応じて意見提出等を行う。

3) 就職委員会

- ・昨年度に引き続き、就職担当者向けの情報交換会を開催し、就職支援に向けた情報共有、意見交換を行い、就職支援諸施策の充実を図る(11月～12月頃実施予定)。
情報交換会は、昨年度の就職委員会アンケートの結果を参考に、福祉系大学に共通する課題をテーマとし実施する(例：福祉の専門知識・資格を取得した学生の「福祉業界への就職離れ」を防ぐための取り組み 等)。

4) 学生募集戦略検討委員会

- ・「平成30年度からの福経協学募共同事業計画」の取り組み2年目として、引き続き個々の大学の学生募集事業とも連携を図り、福祉系学部・学科の認知度向上、学募回復に繋げる事業として、特設サイト『全国で活躍するセンパイの想い』の充実に取り組む。また、Twitter広告を活用したWeb施策を実施する。
- ・勉強会を2回実施し(9月・3月予定)、事業効果の検証と次年度の実施計画を検討する。

5) 大規模災害対応委員会

- ・防災及び災害支援に関する地域貢献活動実態把握調査結果の発信
平成30年度に実施したアンケート調査(防災及び災害支援に関する地域貢献活動の実態把握)結果をもとに、会員校全体に情報を発信するためのシンポジウムを開催する。(1月総会と同時開催予定)
- ・被災経験のある会員校を対象とする災害対応に関する調査の実施
大規模災害時における会員校同士の相互連携・協力の在り方を検討するための基礎資料を得ることを目的として本調査を実施する。本調査は、社会福祉士養成の観点から、被災後の大学の対応(学生の安否確認、実習先の調整、補講対応等々)について調査する。調査対象校は広島国際大学を予定。

以上

1. 総会の開催

1) 令和元年度第1回総会

- 日 時 令和元年6月14日(金) 14:00~15:10
- 場 所 国際医療福祉大学 東京赤坂キャンパス
- 内 容
 1. 会員代表者等変更のご紹介
 2. 令和元年度事業報告および決算について(案)
 3. 福祉系大学経営者協議会の今後の運営方針等について(案)
 4. 令和元年度事業計画および予算について(案)
 5. 役員改選(案)について
 6. 新委員会体制(案)について
 7. その他
 - 1) 会員校調査結果一覧
 - 2) 2019年度鉄道弘済会奨学生選考結果
 - 3) その他
- 出 席 20 大学 37 名

2) 令和元年度第2回総会

- 日 時 令和2年1月25日(土) 12:30~13:45
- 場 所 日本福祉大学 東海キャンパス
- 内 容
 1. 新規加盟校のご紹介
 2. 会員代表者等変更のご紹介
 3. 令和元年度各委員会活動経過報告
 - 1) 総務・企画委員会
 - 2) 研究活動・教育向上委員会
 - 3) 就職委員会
 - 4) 学生募集戦略検討委員会
 - 5) 大規模災害対応委員会
 4. 令和2年度鉄道弘済会奨学生について
 5. その他
- 出 席 19 大学 29 名

2. 理事会の開催

1) 令和元年度1回理事会

- 日 時 令和元年6月14日(金) 13:05~13:50
- 場 所 国際医療福祉大学 東京赤坂キャンパス
- 内 容 <議事>
 1. 本日の議事及び進行について
 2. その他<報告>
 1. 日本ソーシャルワーク教育学校連盟からの報告

○出席 9大学 16名

2) 令和元年度2回理事会

○日時 令和2年1月25日(土) 11:25~12:15

○場所 日本福祉大学 東海キャンパス

○内容 1. 本日の議事及び進行について
2. 今後の予定等について
3. 加盟校拡大の取り組みについて
4. その他

○出席 8大学 13名

3. 設立10周年記念講演会・シンポジウムの開催

1) 設立10周年記念講演会(別紙1)

○日時 令和元年6月14日(金) 14:30~17:30

○場所 国際医療福祉大学 東京赤坂キャンパス

○内容 <開会挨拶> 理事 高木邦格

<基調講演>

演題:「共生保障~2040年に向けて」

講師: 中央大学法学部 教授 宮本太郎 氏

<シンポジウム>

テーマ:「これからの福祉人材養成課題と福祉系大学の役割」

シンポジスト: 中央大学法学部 教授 宮本太郎 氏 ※コメンテーター

会長 丸山悟

淑徳大学大学院 総合福祉研究科長 戸塚法子 氏

コーディネーター: 副会長 名取はにわ

<開会挨拶> 副会長 長谷川匡俊

○出席 20大学 37名 ※一般含め約70名出席

2) 設立10周年記念シンポジウム(別紙2)

○日時 令和2年1月25日(土) 14:00~17:00

○場所 日本福祉大学 東海キャンパス

○内容 <開会挨拶> 会長 丸山悟

<第1部:基調講演>

演題:「災害ソーシャルワークの可能性を考える」

講師: 関西福祉科学大学 准教授 家高将明 氏

<第2部:福祉系大学による防災・災害支援における実践活動>

1. 東北福祉大学「まちづくり・地域防災コミュニティ論」の実践活動

報告者: 東北福祉大学 教授 岡正彦 氏

2. 日本社会事業大学「災害ソーシャルワークセンター」の実践活動

報告者: 日本社会事業大学専門職大学院 准教授 曾根直樹 氏

3. 関西福祉科学大学「未来に備える災害支援プロジェクト」の実践活動

報告者: 関西福祉科学大学 准教授 一村小百合 氏

4. 兵庫大学「被災地支援」の実践活動

報告者: 兵庫大学 准教授 小倉毅 氏

5. 熊本学園大学「熊本地震とチャレンジ託麻原事業」の実践活動

報告者: 熊本学園大学 准教授 黒木邦弘 氏

〈閉会挨拶〉 理事 江端 源治

○出席 19 大学 39 名 ※一般含め約 50 名出席

4. 各委員会活動

1) 総務・企画委員会

①運営概況調査と進路調査の実施

○日時 令和元年 4 月 16 日 (火)

○内容 1. 令和元年度生入試の状況 (福祉系学部・学科) (1 年次入学・3 年次編入学)
2. 令和元年度在学生数の状況 (福祉系学部・学科)
3. 平成 30 年度社会福祉士及び精神保健福祉士国家試験の状況 (新卒者)
4. 平成 30 年度進路状況
5. 平成 30 年度社会福祉士・精神保健福祉士国家試験合格者の進路状況
6. 平成 30 年度医療・福祉分野における資格取得・国家試験の状況 (新卒者)

②ソーシャルケアサービス研究協議会主催 2020 年新年を祝う社会福祉関係者賀詞交歓会への出席

○日時 令和 2 年 1 月 23 日 (木) 18:30~20:00

○場所 アルカディア市ヶ谷

○内容 福祉系大学経営者協議会 会長として挨拶

○その他 同会には厚生労働大臣、地域共生社会推進に向けての福祉専門職支援議員連盟会長、衆参の国会議員等が出席。福祉系大学経営者協議会 会員校は 5 校出席した。

同会は 8 団体が主催 (日本社会福祉士会、日本医療社会福祉協会、日本精神保健福祉士協会、日本ソーシャルワーカー協会、日本介護福祉士会、日本ソーシャルワーク教育学校連盟、日本保健医療社会福祉学会、日本精神保健福祉学会)。

③社会福祉法人東京都社会福祉協議会 社会福祉法人経営者協議会第 2 回総会での講演

○内容 「これからの地域共生社会における福祉と教育の在り方について」をテーマに、福祉系大学経営者協議会 会長として講演。

※令和 2 年 2 月 26 日の総会で講演を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により総会が中止となった。講演内容は、会員への資料配布により周知された。

2) 研究活動・教育向上委員会

①社会福祉士養成の新カリキュラムに関する研修会の実施

○日時 令和元年 11 月 22 日 (金) 13:30~16:30

- 場 所 国際医療福祉大学 東京赤坂キャンパス
- 内 容 テーマ：「社会福祉士養成の新カリキュラムと福祉系大学の役割」
 1. 社会福祉士養成の新たなカリキュラムについて
講師：厚生労働省社会・援護局 福祉基盤課福祉人材確保対策室 室長補佐 富原博 氏
 2. 新カリキュラムと福祉系大学の役割
講師：日本ソーシャルワーク教育学校連盟会長
国際医療福祉大学大学院 教授 白澤政和 氏
 3. 質疑応答、情報・意見交換
- 出 席 18 大学 33 名

3) 就職委員会

- ①第 8 回就職担当者情報交換会の実施
- 日 時 令和元年 12 月 13 日（金）13:00～16:30
- 場 所 日本福祉大学 東京サテライト
- 内 容 テーマ：社会福祉人材育成に向けた就職支援の取り組み～会員校による事例発表～
<第 1 部：話題提供>
テーマ：「社会福祉法人経営者の立場から」
講師：社会福祉法人武蔵野会 理事長 高橋信夫 氏
<第 2 部：事例発表>
 - 1) 卒業時の質保証と連動したスカラシップ学生の育成プログラムについて
報告者：日本福祉大学 河合太郎 氏
 - 2) 日本社会事業大学就職支援の取り組み—全国に広がる同窓生・同窓会との連携—
報告者：日本社会事業大学 森田智和 氏
 - 3) 「地域中核人材育成プログラム」の就業力育成と教育的効果について～大学主導による
コーオプ教育と体系的なキャリア・就職支援～
報告者：熊本学園大学 嶋田文広 氏
 <就職担当者情報交換会>
- 出 席 9 大学 19 名

4) 学生募集戦略検討委員会

- ①平成 30 年度に特設サイト「全国で活躍するセンパイの思い」を開設した。開設 2 年目となる今年度は、掲載情報(卒業生情報)の更新、特設サイトへの誘引を目的とした Twitter 広告の配信を行った。また、Twitter 広告を配信するターゲット層や広告への反応結果を検討・分析し、「福祉」に親和性のある潜在層の可視化」に取り組んだ。
- ・Twitter 広告は 3 回配信した。その結果、特設サイトの流入数が大幅に増加した。
Twitter 広告配信: 6 月 1 日～10 日 / 8 月 5 日～8 月 18 日 / 11 月 6 日～10 日
特設サイトページビュー:【Twitter 広告配信前】 9,860(平成 31 年 3 月 12 日時点)
↓
【Twitter 広告(2 回目)配信後】 23,103(令和元年 9 月 30 日時点)

・特設サイトへの卒業生情報掲載校は、23 校(昨年度 19 校)。

②学募共同事業」勉強会を 2 回実施し、検証結果や学募上の課題、次年度施策について検討した。

【第 1 回勉強会】

○日 時 令和元年 10 月 4 日(金) 13:00～16:00

○場 所 日本福祉大学 東京サテライト

○内 容 テーマ：今年度学募共同事業(Twitter 広告の配信) および次年度学募共同事業について

1. 2020 年入試の動向・特徴について

報告者：株式会社リクルートマーケティングパートナーズ 飯島隆介 氏

2. Twitter 広告の配信状況について

報告者：株式会社ボーダーリズム 横地祐人 氏

3. 意見交換①「Twitter 広告の今後のターゲット層について」

4. 意見交換②「次年度学募共同事業の取組みについて」

○出 席 11 大学 22 名

【第 2 回勉強会】

○日 時 令和元年 12 月 24 日(金) 13:00～16:00

○場 所 日本福祉大学 東京サテライト

○内 容 テーマ：今年度学募共同事業(Twitter 広告の配信) および次年度学募共同事業について

1. Twitter 広告(第 3 回)の配信結果について

報告者：株式会社ボーダーリズム 横地祐人 氏

2. 2020 年度学生募集に向けた最新トピックス～桜美林大学の事例～

報告者：株式会社リクルートマーケティングパートナーズ 飯島隆介 氏

3. 次年度の「学募共同事業」計画検討

○出 席 12 大学 19 名

③勉強会での検討等を踏まえて「令和 2 年度 学募共同事業実施計画」をとりまとめ、令和元年度第 2 回総会に提案し、確認された。次年度は、卒業生に加えて在校生の情報も特設サイトに掲載し、サイトの内容充実に取り組む。また、引き続き Twitter 広告の配信を行う。

5) 大規模災害対応委員会

①平成 30 年度に会員校に実施した「防災及び災害支援に関する地域貢献活動実態把握調査」の結果をふまえ、設立 10 周年記念シンポジウム「福祉系大学による防災・災害支援活動から福祉の可能性を探る」を開催した(内容は、「3. 設立 10 周年記念講演会・シンポジウムの開催」参照)。またシンポジウムの報告書を作成し、令和 2 年 6 月に会員校に配布予定である。

②大規模災害時における会員校同士の相互連携・協力の在り方を検討するための基礎資料を得るこ

とを目的に、被災経験のある会員校（広島国際大学）に災害対応に関する調査を行った。社会福祉士養成の観点から、被災後の大学の対応（学生の安否確認、実習先の調整、補講対応等々）について調査した。

③幹事校（関西福祉科学大学）主催の防災に関するイベント「令和元年度 避難所運営演習」について、会員校にも広く参加を呼びかけ、2大学が参加した。

以上